

コース名	科目名			対象学年
臨床医学	臨床病態論			4
開講学期	科目責任者	副責任者		
2 学期	松田 純子	和田 秀穂	全体資料 有	

授業到達目標

主な症候・病態の原因、診断と治療の概要に対する論理的思考力を、各分野を統合して学ぶことにより修得する。臨床現場で遭遇する機会が多い15疾患15症例（教科書内の10症例および追加の5症例）の症候、病歴、身体所見、検査所見を論理的に説明できる。

1 血液疾患

- 症例 1：四肢の紫斑、倦怠感、月経過多を主訴に来院した40歳の女性
 症例 2：全身倦怠感を主訴に来院した胃の手術既往のある72歳の男性
 症例 3：2ヶ月前から持続する腹部膨満感、表在リンパ節腫脹を主訴に来院した61歳の女性

2 腎臓疾患

- 症例 4：徐々に増悪してきた浮腫、食欲不振を主訴に来院した76歳の男性
 症例 5：浮腫、乏尿を主訴に来院した7歳の女児

3 呼吸器系疾患

- 症例 6：高熱、膿性痰を主訴に来院した78歳の男性
 症例 7：胸痛、呼吸困難、咳嗽を訴え来院した33歳の男性

4 循環器系疾患

- 症例 8：突然の胸痛で救急搬送された40歳の男性
 症例 9：突然の動悸が出現し、持続するため救急外来を受診した72歳の男性

5 消化器系疾患

- 症例 10：下痢、下血、発熱を主訴に来院した22歳の女性
 症例 11：突然の吐血で救急搬送された47歳の男性

6 神経・筋疾患

- 症例 12：しゃべりにくさ、右半身の脱力を主訴に救急搬送された65歳の男性
 症例 13：転倒後しばらくしてめまいを訴えた92歳の男性

7 内分泌・代謝系疾患

- 症例 14：進行性の食欲低下、体重減少の精査目的で紹介受診した52歳の男性
 症例 15：食欲不振と徐々に増悪する嘔気ですぐ救急外来を受診した40歳の女性

授業計画

回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容	コアカリ項目
1	9/3	火	1	講義	松田	病態代謝	症例1: 血液疾患 (出血傾向、関節腫脹)	F-1-12), F-1-26)
2	9/3	火	2	講義	松田	病態代謝	症例2: 血液疾患 (全身倦怠感)	F-1-2), F-1-26)
3	9/3	火	3	講義	松田	病態代謝	症例3: 血液疾患 (リンパ節腫脹、腹部膨満)	F-1-25), F-1-27)
4	9/5	木	1	講義	松田	病態代謝	症例4: 腎臓疾患 (浮腫、食欲不振)	F-1-4), F-1-11) F-1-29)
5	9/5	木	2	講義	松田	病態代謝	症例5: 腎臓疾患 (浮腫、乏尿)	F-1-11), F-1-28) F-1-29)
6	9/5	木	3	講義	松田	病態代謝	症例6: 呼吸器系疾患 (高熱、膿性痰)	F-1-1), F-1-13)
7	9/10	火	1	講義	松田	病態代謝	症例7: 呼吸器系疾患 (胸痛、呼吸困難、咳嗽)	F-1-15), F-1-16)
8	9/10	火	2	講義	松田	病態代謝	症例8: 循環器系疾患 (胸痛)	F-1-5), F-1-16)
9	9/10	火	3	講義	松田	病態代謝	症例9: 循環器系疾患 (動悸)	F-1-17)
10	9/12	木	1	講義	松田	病態代謝	症例10: 消化器系疾患 (下痢、下血、発熱)	F-1-1), F-1-22) F-1-23)
11	9/12	木	2	講義	松田	病態代謝	症例11: 消化器系疾患 (黄疸、吐血)	F-1-22), F-1-24)

12	9/12	木	3	講義	松田	病態代謝	症例 12: 神経・筋疾患 (意識障害、片麻痺、構音障害、眼球運動障害)	F-1-7), F-1-34)
13	9/19	木	1	講義	松田	病態代謝	症例 13: 神経・筋疾患 (めまい)	F-1-9), F-1-33)
14	9/19	木	2	講義	松田	病態代謝	症例 14: 内分泌・代謝疾患 (食欲不振、体重減少)	F-1-3), F-1-4)
15	9/19	木	3	講義	松田	病態代謝	症例 15: 内分泌・代謝疾患 (食欲不振、嘔気)	F-1-3), F-1-21)
評価方法								
[期末試験]80% (講義内容の理解度を 5 択方式および筆記試験にて問う。)								
[出席状況 (受講態度)]20% (出欠状況、受講状況により段階評価する。)								
[評価方法]多肢選択試験、論述・記述試験、出席・受講態度評価								
課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックについて								
試験問題に関する質問は、担当教員に連絡 (メールもしくは中央教員秘書室から電話) してください。担当教員が適宜解説します。								
教科書								
ISBN-9784524267378, 総合診療力を磨く 40 の症候・症例カンファレンス—臨床推論の達人を目指せ!, 百村伸一 (監修), 南江堂, 2014/04/01								
参考書								
ISBN-9784254322613, 内科学 (第 10 版), 矢崎 義雄 (監修), 朝倉書店, 2013/06/10								
ISBN-9784895927345, ハリソン内科学 (第 4 版), 福井次矢 (監修) 黒川清 (監修), メディカルサイエンスインターナショナル, 2013/03/26								
準備学習 (予習・復習等)								
15 症例 (教科書および全体資料として配布) の病態・診断・治療を予習して講義に臨むこと。 講義で解説を受けた内容は教科書を読んで各自復習すること。 予習・復習にはそれぞれ 1 時間程度の学習を要する。								
講義についての注意事項								
本科目は各分野の代表的疾患の病態生理を理解する絶好の機会です。演習形式の「症候論」と関連させて教科書を読みかえし、提示症例の病態メカニズムを論理的に説明できるようになってください。 講義内容に関する質問がある場合は、担当教員に連絡 (メールもしくは中央教員秘書室から電話) してください。								
昨年度からの変更点・改善項目								
各分野の代表的疾患の病態生理を、症例を中心に論理的に理解することに重点を置きます。明快な図、実際の症例写真、インターネットやデジタルコンテンツを使って解説します。CBT 対策にも言及します。								
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について								
本科目習得後、3 学期から始まる臨床実習Ⅳ・Ⅴ履修や診療の基本のために必要な学問である。								
ナンバリング								
DLCP414								